

記者発表資料
平成21年7月9日
社会福祉法人
横浜市リハビリテーション事業団
事務局経営部長
佐藤 友也 473-0690

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2009開催のご案内

「ヨコハマ初」が、いっぱい！

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団では、7月24日(金)、25日(土)の2日間にわたり、「**ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2009**」(愛称:ヨtteク)をパシフィコ横浜・展示ホールBにて開催いたします。

今年で8回目となるこのイベントは、これからの福祉には人とテクノロジーの調和がより求められてくるという観点から、**テーマを「福祉を支える人とテクノロジー」**とし、さまざまな最新福祉機器の体験、多彩なアトラクションなどを用意します。福祉を支える人のアクティビティとテクノロジーの素晴らしさや可能性について、見る・さわる・遊ぶ・考えることができます。

また、今年**はイベントのテーマを「元気を出そう」**とし、当事業団のリハビリテーションに関する専門性をより市民のみなさんに身近に親しんでいただくため、健康で活動的な生活を送るための関連した情報、活動を様々な展示と体験イベントで発信するとともに、会場もお祭り気分で盛り上げていきます。(別添リーフレット)

ぜひ、ご取材いただけますよう、お願いいたします。

ヨコハマ初

自立支援用ロボットスーツ

介護人材の不足が課題となっている現在、ロボット技術の福祉・医療分野への応用の期待が高まっています。

ヨtteクでは今回も最新のロボット技術の展示を行います。

ロボットスーツHAL™は、脚に障害のある方々や脚力が弱くなった高齢の方々の脚力・歩行機能をサポートし、歩くことの素晴らしさを取り戻していただくことを願って誕生した、革新的な自立支援ロボットです。

筋肉を動かそうとする脳からの電気信号を皮膚表面で検出し、コンピュータ制御により各部モータを動作させて人の動きをアシストする、画期的なスーツ型ロボットです。

ヨtteクでは一昨年・昨年から紹介しており、今年で3回目の紹介となります。施設向け販売がスタートしてからは、初めての出展・展示となります。



当日お越しいただいたプレスの皆さまには、記念品として「ヨtteク・オリジナルTシャツ」をご用意しております。ご希望の方はお申し付けください。



裏面あり

ヨコハマ初

横濱開港150周年記念 横濱音頭 を練習中です！



瀬谷区三ツ境在住の作詞作曲家・廣松亮介さんが手がけた『横濱開港150周年記念 横濱音頭』を、ヨッテク会場で7月24日(金)ヨッテク会場でみんなで踊り、お祭り気分を盛り上げます。

横浜ラポールでは、障害のある方でも踊りやすいよう振付をアレンジし、利用者みなさんと共に練習に励んでいます。

練習日：7月9日(木) 15:00、7月10日(金) 15:00

7月16日(木) 15:00、7月17日(金) 15:00

場所：横浜ラポール メインアリーナにて

(お問合せ：横浜ラポール 岡部・宮澤
475-2050)

ヨコハマ初

車いすを格納できるエコカーの展示

エコロジーの定着や減税によりエコカー(環境対応車)がブームになっています。障害のある方にとってもこのブームは同じです。

そこで、6月の自動車販売ランキングで、トップとなったハイブリッド車「プリウス」のウェルキャブ(福祉車両)シリーズが、ヨッテク会場に初登場です。

すでに発売されている助手席がリフトアップするタイプと、7月発売予定(7/10現在)の車いす利用者ご本人が運転するための機能がついたタイプの2台を体験することができます。車いすを電動でルーフ上に格納することができる新商品「ウェルキャリア」は専用リモコンを使って、車いすを電動でルーフ上に格納します。

横浜における展示は、ヨッテク会場が、初となります。



【本イベントに関するお問合せ】

ヨッテク運営事務局

横浜市総合リハビリテーションセンター

総務部 佐藤(さとう)、研究開発課 飯島(いじま)、鈴木(すずき)

TEL. 045-473-0666 (代表) FAX. 045-473-1299

URL <http://www.yotec.jp> E-mail yotec-info@yokohama-rf.jp